



# 玉北小だより

かしこく  
やさしく  
たくましく

小美玉市立玉里北小学校  
平成29年10月16日  
No. 22

## 読書の秋

右に載せた文は、私に届いた手紙の内容です。この手紙に書かれている集会の内容や本については、学校だよりNo. 19に書かせていただきました。私が紹介した本が、私が読み聞かせをした本が、こうして子供の心に残り、その思いを届けてくれたことに温かい気持ちになりました。

校長先生へ

校長先生、なかよし集会の時「うまれてきてくれてありがとう」を読んでくれてありがとうございました。とてもすてきな本でした。また、いい本を見つけたら読んでください。  
2年 くにや かなとより

私が紹介した本が、私が読み聞かせをした本が、こうして子供の心に残り、その思いを届けてくれたことに温かい気持ちになりました。

本校では、毎週金曜日の朝、「ひこうせん」や「おはなしテルテル」の方々に、読み聞かせをしていただいています。子供たちは、この読み聞かせの日を心待ちにしています。左の写真からも、お話の世界に入り込んでいる子供たちの様子が感じられるのではないのでしょうか。



10月13日 「ひこうせん」の方による読み聞かせの様子

下の表は、1学期末に児童、保護者、職員に実施したアンケートの中の読書に関する結果です。

(4：そう思う 3：だいたいそう思う 2：あまりそう思わない 1：そう思わない)

対象	調査内容	4	3	2	1
児童	わたしは本が好きです。本を進んで読んでいます	5 1	3 0	1 3	5
保護者	児童（お子さん）は読書に進んで取り組んでいる	2 1	4 6	3 1	2
職員	児童は読書に進んで取り組んでいる	0	1 0 0	0	0

(単位：%)

同じような調査項目でありながら、調査した対象によって違いが見られます。特に違うのは、保護者の方が感じている本校児童（お子さん）の読書への取り組みに対して、3割の方が「2：あまりそう思わない」と回答されている点です。これは「家庭で読書をしている様子をあまり見ない」と感じられている方もいるのではと推測しています。しかし、児童の結果を見ると、本校の半数の児童が「読書が好き」と自信をもって回答しています。「だいたいそう思う」と回答している児童までを含めると、8割の児童が「読書が好き」ということがわかります。「あまりそう思わない」「そう思わない」を選んだ児童の中にも「自分で読むのはあまり好きではないけれど、読んでもらうのは好き」「読む本を決めるのは難しいけれど、一回読んでもらった本なら読みたいくなる」という児童もいるようです。読んでもらったり紹介してもらったりすることで、本への関心は高まっていきそうです。

本校職員は、読み聞かせの様子や毎朝10分間の「読書タイム」の様子などを見ているので「3：だいたいそう思う」と感じています。「もっと本への関心を高めてあげたい」との思いが「4：そう思う」ではなく「3：だいたいそう思う」を選択しているようです。

「ひこうせん」や「おはなしテルテル」をはじめとする方が、本校の図書室整備ボランティアをはじめとさせていただきます。(右写真)

子供たちには、よい本とたくさん出会ってほしいと願っています。学校でも、引き続き、朝の読書や読み聞かせ、先生からの本の紹介などをしていきます。さらに、ボランティアの皆様のお力をお借りして、図書室の整備もすすめていきます。秋も深まってきました。ぜひご家庭でも、秋の夜長を「親子読書」や「読み聞かせ」に・・・、休日のひとときを図書館で過ごしてみるというのはいかがでしょうか・・・。よい本と出会えるといいですね。私も、子供たちに紹介する本を探してみます。

